



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	898	179.1	117		116		117	
2020年3月期第1四半期	321	19.0	213		223		223	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 117百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 222百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	12.45	
2020年3月期第1四半期	23.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期第1四半期	1,976	595	30.1	63.00
2020年3月期	2,294	712	31.1	75.40

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 595百万円 2020年3月期 712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示します。

詳しくは添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	9,456,500 株	2020年3月期	9,456,500 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,004 株	2020年3月期	1,004 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	9,455,496 株	2020年3月期1Q	9,455,588 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個人消費や企業の経済活動が制約を受け、極めて厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発及び電子決済ソリューション（「Incredist」、「Incredist Premium」、「Incredist Trinity」及び「ペイメント・マイスター」）の開発及び販売に注力いたしました。

コンサルティング&ソリューション事業の大型の基幹システム開発案件において、新型コロナウイルス感染症対策として、当第1四半期の大半を在宅勤務体制で進めたことにより、一部機能の開発スケジュールが遅延しており、今後の開発工数が増加する可能性があるため、保守的に見て損失見込額として、受注損失引当金繰入額111百万円を売上原価に計上いたしました。

本件は大規模なシステムのため、擬似的なテストデータを生成してのテストが難しく、顧客の実データを基にしてテストデータを生成し、テストを実施する必要がありますが、それらのデータは重要な機密情報のため、自宅からの参照は限定的にせざるを得ず、プログラム開発におけるテスト効率が著しく低下する状況が発生しました。また、旧システムからのデータ移行の準備も、本物のデータが介在するため、在宅勤務体制では作業できることに限界がありました。

これ以上のスケジュール遅延を発生させないため、本社はオフィスを増床してソーシャルディスタンスを確保し、仙台事業所においては座席間パーテーション設置等を行い、感染予防対策を講じた上で、プロジェクトメンバーの出勤率を上げ、開発効率を改善しております。

一方、コンサルティング&ソリューション事業のクラウドインテグレーション部は、在宅勤務体制でGoogle社のクラウドソリューション「G Suite」をベースにしたシステム構築を行っておりますが、これまで通りの開発効率を維持して業務を推進しています。

当社グループでは、様々な開発案件に対応するため、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、withコロナ時代における働き方について、柔軟に対応してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高898百万円（前期比179.1%増）、営業損失は117百万円（前年同期は営業損失213百万円）、経常損失は116百万円（前年同期は経常損失223百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は117百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失223百万円）となりました。

（単位：百万円）

	当第1四半期 (連結)	前第1四半期 (連結)	前年同期比	
			増減額	増減率
C&S事業(*)	122	94	27	29.5%
サービス事業	752	191	560	292.2%
ECソリューション事業	23	35	△12	△33.8%
調整額	—	—	—	—
売上高	898	321	576	179.1%
C&S事業(*)	△109	△64	△44	—
サービス事業	82	△59	142	—
ECソリューション事業	△6	△6	△0	—
調整額	△83	△82	△1	—
営業損益	△117	△213	95	—
経常損益	△116	△223	107	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△117	△223	106	—

(*) C&S事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

①コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

また、上記に記載したとおり、大型の基幹システム開発案件において、受注損失引当金繰入額111百万円を売上原価に計上いたしました。

以上の結果、売上高は122百万円（前年同期比29.5%増）、営業損失は109百万円（前年同期は営業損失64百万円）となりました。

②サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売に注力いたしました。

当期に「Incredist Premium」の大型納品があったことにより、増収増益となっております。

以上の結果、売上高は752百万円（前年同期比292.2%増）、営業利益は82百万円（前年同期は営業損失59百万円）となりました。

③ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

引き合い状況は堅調であります。受注した案件が後ろ倒しになった影響により、前期比で減収となっております。

以上の結果、売上高は23百万円（前年同期比33.8%減）、営業損失は6百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ318百万円減少し、1,976百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の減少(551百万円減)、売掛金の増加(190百万円増)であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ201百万円減少し、1,380百万円となりました。主な増減要因は、前受金の減少(153百万円減)、未払消費税の減少(117百万円減)であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ117百万円減少し、595百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(117百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、顧客企業側の投資計画、事業計画に変更があるかどうかなど、新型コロナウイルス問題に起因する影響を読み切れないため、現時点では第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の発表を控えさせていただきます。受注状況が明確になった段階で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,575,694	1,023,758
売掛金	227,110	418,089
商品	105,894	105,899
仕掛品	36,573	172,642
前渡金	180,229	84,458
その他	37,663	36,185
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,162,166	1,840,034
固定資産		
有形固定資産	54,717	50,163
無形固定資産	7,687	14,048
投資その他の資産	69,740	71,820
固定資産合計	132,146	136,032
資産合計	2,294,312	1,976,067
負債の部		
流動負債		
買掛金	274,365	240,922
短期借入金	11,664	117,660
1年内償還予定の社債	96,000	96,000
前受金	384,594	231,378
未払消費税等	121,714	3,827
未払法人税等	104,573	3,945
受注損失引当金	76,700	186,200
その他	79,779	51,356
流動負債合計	1,149,391	931,290
固定負債		
長期借入金	208,621	225,709
社債	204,000	204,000
資産除去債務	17,078	17,078
その他	2,300	2,300
固定負債合計	431,999	449,087
負債合計	1,581,391	1,380,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,688,217	△1,805,984
自己株式	△1,452	△1,452
株主資本合計	711,252	593,485
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,668	2,203
その他の包括利益累計額合計	1,668	2,203
純資産合計	712,920	595,689
負債純資産合計	2,294,312	1,976,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	321,836	898,287
売上原価	335,940	842,441
売上総利益又は売上総損失(△)	△14,103	55,845
販売費及び一般管理費	199,230	173,528
営業損失(△)	△213,333	△117,682
営業外収益		
助成金収入	-	2,000
その他	28	1,067
営業外収益合計	28	3,067
営業外費用		
支払利息	3,246	519
支払手数料	6,250	-
その他	546	882
営業外費用合計	10,043	1,402
経常損失(△)	△223,348	△116,017
税金等調整前四半期純損失(△)	△223,348	△116,017
法人税、住民税及び事業税	597	1,749
法人税等合計	597	1,749
四半期純損失(△)	△223,946	△117,766
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△223,946	△117,766

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△223,946	△117,766
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,170	535
その他の包括利益合計	1,170	535
四半期包括利益	△222,775	△117,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222,775	△117,231

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	94,283	191,918	35,634	321,836	-	321,836
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	94,283	191,918	35,634	321,836	-	321,836
セグメント損失 (△)	△64,762	△59,510	△6,220	△130,494	△82,839	△213,333

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	122,063	752,645	23,578	898,287	-	898,287
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	122,063	752,645	23,578	898,287	-	898,287
セグメント利益 又は損失(△)	△109,339	82,541	△6,999	△33,796	△83,885	△117,682

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。